

[東京都]



# 東京都立深川高等学校

## 深川フェアトレードプロジェクト



@高校生ボランティアアワード2024

### 世界を繋げるフェアトレード ～フェアトレード食品の啓発活動～

フェアトレードとは、公正な取引を通じて発展途上国の労働者や生産者に**適正な賃金**を支払い、**労働環境を改善**する取り組みです。日本ではコーヒーやチョコレートなどが安価に販売されていますが、その背後には劣悪な労働環境があります。**フェアトレード認証製品**はこれを改善し、持続可能な生産を促進します。国際協力ボランティア部では、2019年からフェアトレードの重要性を伝える活動を行っており、様々な活動を実施しております。



外部発表会の様子



正門での啓発活動



校内でのクッキーの配布



クッキーの包装

#### 活動背景

フェアトレードとは、発展途上国の産物を公正な価格で買い取る運動や、そのような取引を指します。フェアトレードの基準が守られた製品には、国際フェアトレード認証ラベルがパッケージに表示されています。フェアトレードは、適切な対価を支払うことで途上国の貧困解消や経済的自立を促し、社会的地位や生活水準の向上に寄与します。しかし、日本のフェアトレード製品の売上高は**10億円**であり、アメリカ（**1178億円**）やイギリス（**1136億円**）と比べて**大きく下回っています**。日本ではフェアトレードの認知度がまだ低いことがわかりますが、近年は認知度が上がってきています。

#### フェアトレード食品をもっと身近に！

日本では、フェアトレードがまだまだ認知されていません。そこで、私たちに何ができるのか解決策を考えてみました。まず、フェアトレードを広める。生産者の方々は**正当な給料を支払われていない、学校に行けずに働かされている子どもたちがいるという現状を知ってもらうことがフェアトレードを日本で普及させる一歩だ**と思います。そこで、私たちはこれまで卒業した先輩方の頃より以下のことに取り組んできました。

～これまでの取り組み～

・多くの生徒がチョコレートを贈り合うバレンタインデーの日にフェアトレードチョコレートの啓発活動“**フェアトレードのチョコを贈ろう!**”(2020.2)



・「**あなたのチョコレートは低賃金労働者を苦しめていませんか?**」というタイトルで、ポスターを作成し、外部発表会にて発表(2020.11)



・ポスターを作成し、バレンタインを前に、校内にて啓発活動の実施(2021.2)

・東京都高校生国際理解・国際協力に関する研究発表会にて活動内容の発表を行った。(2022.12)

・フェアトレードの紅茶を使用したクッキーを作り、フェアトレードについてまとめたチラシとともに、校内で配布(100セット)。(2023.12)

・フェアトレードの紅茶を使用したクッキー校内配布第2段! 200セット (2024.5)



クッキーに添えたチラシです。

#### 一人当たりの購入額

※1年あたり

イギリス 2329円 アメリカ 333.3円

日本 12.5円...

日本ではまだまだマイナーだね



#### まずは若い世代にもっと知ってもらいたい!!

一番大切なことは、私たちがフェアトレードマークの商品を**積極的に選ぶこと**です。また、フェアトレードについて知らない人にもフェアトレードについて知ってもらうために、啓発活動を定期的に行う必要があると思います。特に今の若い世代は、国際的な問題に対する知識や自分たちができることについて考えて意識して行動しようとする人が少しずつ増えてきているので、得た知識や大切だと思ったことを友達や家族にも共有したいと思います。また、今年度は、江東区都市計画課に協力を得て、**江東区のWSに参加している区民の皆さん**にも啓発活動が行える予定です。

#### 深川フェアトレードプロジェクト

私たちは、青少年赤十字に加盟し、地域や国際的な問題に対する啓発活動を行っています。例えばフェアトレード啓発活動、清掃活動、商店街活性化モデルの構築、江東区の様々なボランティアです。これらの活動を通じて、同世代の若者に地域から地球規模の問題への関心を高めてもらうことを目指しています。

